

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和07年12月25日

計画の名称	射水市における物流拠点へのアクセスの強化と安全・安心な暮らしを支える道づくり（3期）											
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）											
交付対象	射水市											
計画の目標	物流拠点へのアクセス道路を整備し、活力ある地域づくりを行う。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	812	A	812	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0%

番号	定量的指標の定義及び算定式 （評価時点の計画路線整備済延長） / （計画路線延長：3.65km） × 100	計画の成果目標（定量的指標）			定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の現況値		目標値			
		当初現況値	中間目標値	最終目標値	R5当初	R7末	R9末
1	幹線道路と物流拠点とを結ぶアクセス道路等の整備率の向上を図る。 アクセス道路等の整備率を算出する。 (整備率) = (評価時点の計画路線整備済延長) / (計画路線延長：3.65km) × 100	46%	75%	89%			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)		全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況					
		一體的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	射水市	直接	射水市	市町村道	改築	(他)三ヶ34号線 三ヶ ・稻積	歩道整備 1.47km	射水市					31	-				
	A01-002	道路	一般	射水市	直接	射水市	市町村道	新設	(他)今井北高木線 今 井・新開発	道路新設 0.40km	射水市					61	-				
	A01-003	道路	一般	射水市	直接	射水市	市町村道	新設	(他)三ヶ34号線 稲積	道路新設 0.52km	射水市					380	-				
	A01-004	道路	一般	射水市	直接	射水市	市町村道	改築	(1)朴木赤井線 沖塚 原	拡幅整備 0.85km	射水市					340	-				
												小計				812					
												合計				812					

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05	R06			
配分額 (a)	125	59			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	125	59			
前年度からの繰越額 (d)	0	72			
支払済額 (e)	53	86			
翌年度繰越額 (f)	72	45			
うち未契約繰越額(g)	65	45			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	52	34.35			
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由	関係者との協議・調整に不測の日数が生じたため	関係者との協議・調整に不測の日数が生じたため			

事前評価チェックシート

計画の名称： 射水市における物流拠点へのアクセスの強化と安全・安心な暮らしを支える道づくり（3期）

事 前 評 価	チェック欄
I . 目標の妥当性 射水市総合計画の「企業誘致の推進」「地域をつなぐ道路網の整備」の施策に整合している。	<input type="radio"/>
I . 目標の妥当性 射水市総合計画の市民ニーズ実態調査結果より、「交通安全対策の推進」は重要度が高く満足度も高い施策として今後も継続的な施策の推進が必要であり、「活力ある工業の振興」は重要度が高く満足度が低い施策として今後優先的に対応が求められている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 整備計画の目標に合わせた定量的指標としている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 実績を基にした指標であり、分かりやすさに配慮した指標としている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、整合性を確保している。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 実績を基にした指標であり、中間・事後調査を実施できる。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、事業効果が得られる計画となっている。	<input type="radio"/>
III . 計画の実現可能性 事業地区の地縁団体と事前に協議を重ね、円滑に事業を実施できる環境が整っている。	<input type="radio"/>
III . 計画の実現可能性 要素事業の位置付けにあたり、地元関係者からの強い要望を確認している。	<input type="radio"/>

(参考様式3) 参考図面(社会資本整備総合交付金)

